

定時社員総会 次第

日時 2022年 6月 12日 10:00~12:00

会場 田口ライフサービス 環境事業部 (裾野市富沢252)

議事

- 第1号議案 2021年度 (令和3年度) 活動報告および会計報告
- 第2号議案 2022年度 (令和4年度) 活動計画および予算
- 第3号議案 役員改選に関する事 *任期満了に伴うもの

一般社団法人 マチテラス製作所 代表理事 深野裕士

第1号議案 2021年度 活動報告および会計報告

■2021年度 概要

引き続き新型コロナウイルス感染拡大の予防対策措置が取られる中での活動となった。対面による講座の開催や人が多く集まるようなイベントは実施が見送られた。一方インターネット回線を活用したオンライン講座などの新たな動きも盛んになった。裾野市においては財政非常事態宣言が出され、予算の大幅な見直し(削減)が実施された。市民活動センターの予算は2割を超えて減額された。社会環境、予算面で厳しさが増す中で、できることを確実に実施できるよう工夫を凝らして取り組んだ。移動支援の実証実験では、地域・企業・社会福祉協議会との連携もできた。

行政との協働

- ・裾野市 市民活動センター関連事業 (センター運営)
- ・沼津市 (民間まちづくりファンド活動報告会・ソーシャルビジネス起業セミナー2)

企業との協働

- ・住友理工あったか基金・市民活動助成金 事務局

地域の福祉

- ・福祉車両
福祉有償移動サービス事業
- ・移動支援事業 実証実験実施
助成金をもとに実施
民間企業や社会福祉協議会との連携
- ・介護保険関連事業
協議体メンバー (介護保険課)



ひとのつながり
裾野ファンづくり

- ・すそのおんぱく
実行委員会運営
- ・裾野高校 総合学科関連
観光企画・立案 講座運営

地域課題への取り組み

- ・裾野市長選挙 公開質問状

市民の活動サポート
会員の活動サポート

第1号議案 2021年度 活動報告および会計報告 1

事業 (会計の詳細については、添付の決算報告もご参照ください)

行政との協働事業

■ 裾野市 市民活動センターの運営事業(事業予算 511万円) * 裾野市 戦略広報課課

- ＊前年より予算が大幅に削減された (650万円→511万円) 毎週火曜日～土曜日の運営になった
- ・相談 (NPO相談) ・市民の相談 ・情報の収集&発信 ・助成金申請サポート
- ・高校生などの若い世代の人たちからの活動相談を受け実施のサポートも行った。
- ・お便りの発行 ・やってるよ～通信発行 ・SNSやブログによる情報発信 ・FMラジオなどでのPR
- ・市民まちづくり講座 (オンライン) ・オンラインで出前講座

年間相談件数	458 件	会議・運営サポート	41 件
講座等開催	5 回	SNS等の閲覧数	30,061 件
お便り/やってるよ～発行	14 回		



第1号議案 2021年度 活動報告および会計報告 2

- 沼津市 民間まちづくりファンド活動報告会運営 (事業予算 25万円) * 沼津市 地域自治課 委託
沼津市からの委託事業 沼津市の助成を受けた団体の活動発表会の会場設定、報告会の進行サポートを行った。オンライン&会場のハイブリッド開催となった。
- 沼津市 ソーシャルビジネス起業セミナー (事業予算70万円) * 沼津市 商業振興課産業振興課 委託
起業を目的とした人材を育成するセミナーの企画運営を行った (ソーシャルビジネス・社会課題の解決)。5回のセミナーの中で、ソーシャルビジネスについて学び、最初の一步を踏み出す機会を提供した。今回は全ての講義をオンラインによるライブ配信とした。そのほかに、交流会・相談会を対面にて実施した。

実施期間 2021年10月21日～2022年2月10日 / 会場：オンライン配信 / 受講生人数 (延) 59人
講師：小池達也さん (一般社団法人 よだか総研) ・ 監物知利子さん (戸田橋香房) ・ 青山沙織さん (戸田)



■ おんぱく関連事業 運営 (運営費 0)

すそのおんぱく2021-2022 通年開催とし、毎月情報交換会を行いながら実施した。

企業との協働事業

■ 住友理工あったか基金 助成金事業の事務局運営 (事業予算 70万円 このうち事務経費として40万円)

裾野・御殿場・長泉で活動する市民活動団体の活動を支援するため、住友理工が基金を創設し助成する事業。その事務局として、団体への呼びかけ、応募受付、相談対応、審査会の設定・実施、助成金の配布などを行った。

自主事業

- 地域の福祉に関する事業（自主事業 49.5万円）＊うち寄付 20万円

福祉有償移動サービス事業（おでかけマチテラス）・運転ボランティア 18人にて運営

定期的な利用者に加えて、就労実習に通うため2週間連続の送迎要望にも対応することができた。

この事業に対して毎年20万円の寄付をいただいている。昨年度譲っていただいた車両も数は少ないが稼働した。

社有車2台・持ち込み車両2台で利用の増加にも対応できた。

一方、利用者の身体能力の低下により介助が必要になる場面が増えることによる対応の高度化など変化も出てきた。



- 移動手段の調査・社会実験（公益財団法人 船井幸雄記念館助成金・助成事業）＊助成金20万円は前年度に入金済

移動の問題は、大きな問題になると予測される。このため、裾野市内の実情を調べる活動に着手した。

本来は昨年度に実施すべき事業であったが、コロナの影響で1年延期しての実施となった。

船井財団からえた助成金をもとにアンケート調査、移動サービスの試行運転（6回計画・実施4回）

裾野市社会福祉協議会・介護施設イーストワンとの協働により実行できた。

自主事業

- すそのテラス事業（2020年度で事業中止） 借入金完済。

2017年度より実施し、昨年事業を中止した居場所づくり（飲食・スペースレンタル事業）事業に関わる借入金（当初650万円・三島信用金庫）を完済した。

- 裾野市 市長選挙にかかわる取り組み（公開質問状の作成及び回答の公開など）

選挙を立候補者やその関係者のみならず、広く市民の皆さんにも関心を持ってもらうこと、投票時の判断材料としてもらうこと、立候補者に市民の関心事を知ってもらい、当選後の市政へ反映してもらうことを狙って「公開質問状」を作り、両陣営に届けた。その回答をネットで公開した。

質問を作る過程においても、多くの市民の皆さんの声を集め、対話の場も設けることで、選挙に主体的に参加する機会を提供した。

新聞紙上でも複数回取り上げてもらい、多くの市民の皆さんにも関心を持ってもらえた（好評）。

＊投票率には若干低下した。 ＊新市長は「市民の声」を重視する基本方針を打ち出した。

成果：指標＝つながりを豊かにすることができたか？

市長選挙に関係する取り組みや移動支援事業の実証実験を行う中で、関係する市民の皆さんだけでなく、裾野市社会福祉協議会や、地域の介護施設を運営する企業、地域の区長さんたち、市議会議員さんたちとのつながりが深くなった。

社会課題解消の取り組みは、私たちマチテラス製作所だけではどうにもならないが、地域の関係者の皆さんとの連携をとることにより、単独ではできないことができることを実感した。このつながりを今後もさらに生かしたい。

